

第1回全国高校生社会イノベーション選手権

本大会資料



【注意事項】

2018年に行われた「第1回全国高校生社会イノベーション選手権」の本大会において用いられた資料です。一部改変しており、実際に使用されたものとは異なる部分があります。この資料の著作権は「全国高校生社会イノベーション選手権実行委員会」に属します。無断転載・転用を禁じます。





イノチャン

本大会WS

『日常的にも災害時にも役に立つグッズを考える』



テーマの説明

テーマ：『日常的にも災害時にも役に立つグッズを考える』

- 持ち歩きたくなる防災グッズ
- 防災機能を兼ね備えた日用品

背景

- いざというときに防災グッズが手元にない
- 日常生活の中で災害への意識が薄れてしまう

意義

- ✓ 常に持ち歩いているものが災害時に役に立つ
- ✓ 日常的に災害に意識を向けることができる



ワークショップ構造

1. 防災の課題を考える

2. 日用品について考える

3. 普段から使いたくなる防災用品のアイデアを考える

4. アイデアの共有・評価・選択・改善



ワークショップの流れ

1. 防災の課題を考える (80 min.)
 - 個人で考える (10 min.)
 - グループでの共有・議論および先生からのフィードバック (50 min.)
 - フィードバックを踏まえて再度議論 (20 min.)
2. 日用品について考える (30 min.)
- 3 & 4. 普段から使いたくなる防災用品のアイデアを考える/
アイデアの共有・評価・選択・改善 (130 min.)
 - 個人でのアイデア出し (10 min.)
 - グループでの共有・議論 (20 min.)
 - 先生からのフィードバック (10 min.)
 - ちゃぶ台返し・再度議論 (90 min.)



ワークショップ構造

1. 防災の課題を考える

2. 日用品について考える

3. 普段から使いたくなる防災用品のアイデアを考える

4. アイデアの共有・評価・選択・改善



防災の課題を考える

(60 min.)

1. 事前に考えた防災の課題を
ポストイットに書く
(個人で10分)

- **なるべく具体的に**書くようにしましょう
- **ピンク色のポストイット**に書きましょう
- 書いたものから模造紙に貼りましょう
- 似た課題があったら近くに貼ってください

2. 課題を共有して重要だと思
う5つを絞る
(チーム)

- 以下のような課題を選びましょう
 - 具体的な場面が思い浮かぶもの
 - 発生する可能性が高いもの
 - 今まで注目されていないもの

3. 先生からのフィードバック

- 絞った防災の課題を簡潔に説明して意見をもらいましょう
- フィードバックには必ずしも従わなくても構いません



<Tips> ポストイットの使い方

具体的に書く

- 「**なにが**」「**どのように**」問題になるのかが分かるように書きましょう



ブロック塀が倒れてくると避難の時に進めなくなる



ブロック塀が倒れてくる



ブロック塀・避難

1トピック 1ポストイット

- 1つのポストイットに書く事柄は1つだけにしましょう

積極的に書く

- 「間違っているかもしれないこと」もためらわずに書きましょう

丁寧に書く

- 他の人が読み取れるように書きましょう



<Tips> チームでの共有の仕方

チームでの共有時には積極的に質問やコメントをしましょう。

出てきたコメントは貴重な情報です。ポストイットに書いて残しておきましょう。

例：

Aさん「避難所では人が多くてストレスが溜まる」

Bさん「人が多いとなんでストレスが溜まるの？」

Aさん「肌と肌がふれあっていて嫌だからかな」

Cさん「あと、蒸し暑そうだよ。匂いとかも気になるかも。」

避難所では
人が多くて
ストレスが
溜まる

肌と肌が触
れ合っ
て気
持ち悪い

人が多いと
蒸し暑い

人が近いと
他人の匂い
が気になる



先生からのフィードバック&再議論

(20 min.)



休憩10分間



ワークショップ構造

1. 防災の課題を考える

2. 日用品について考える

3. 普段から使いたくなる防災用品のアイデアを考える

4. アイデアの共有・評価・選択・改善



日用品について考える

(30 min.)

持参した日用品を互いに紹介する

1. 一人一つずつ、事前課題の「普段から使っている日用品」を**緑色のポストイット**に書いて紹介してください
2. 聞いている人は、聞きながらコメントを**黄色のポストイット**に記入してください

[Tips]

- 以下の点を質問してポストイットに記入しましょう。
 - a. その日用品とどのように出会ったのか
 - b. なぜその日用品をいつも持っているのか

ファンイベントの時に
もらった

ジャイアンツのタオル

自分が何が好きかを示すことができるからいつも持っている



ワークショップ構造

1. 防災の課題を考える

2. 日用品について考える

3. 普段から使いたくなる防災用品のアイデアを考える

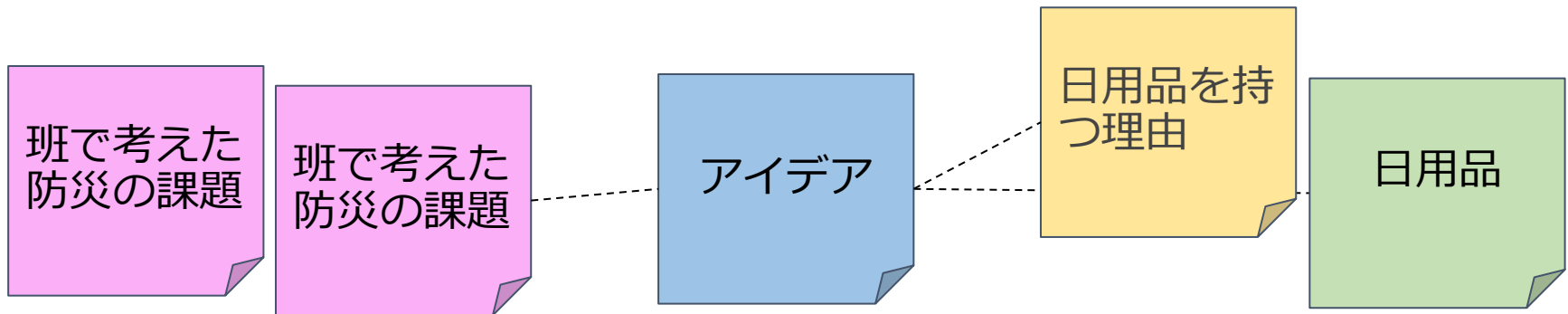
4. アイデアの共有・評価・選択・改善



アイデア発想

(10 min.)

普段から使いたくなる防災用品・防災の課題を解決しうる日用品のアイデアを**個人で集中して**考えて**青のポストイット**に書きましょう



良いアイデアとは？

- 「防災の課題」を解決しうる
- 「普段から持ちたい理由」がある



アイデア発想

防災の課題を解決しうる日用品のアイデアを，個人で集中して考えましょう。

例:防災ミサンガ

防災の課題：洗濯物を干すための棒やひもがない

日用品：ポップなミサンガ(アクセサリ)

持ちたい理由：ポップで

いざというときは，ミサンガをほどいて



<http://bosai-girl.com/2016/08/15/misanga/>



アイデア発想

防災の課題を解決しうる日用品のアイデアを，個人で集中して考えましょう。

[Tips]

もし考えることができない場合，以下の方法を参考してください

- 話していると，考えることに集中できません．個人で考えましょう
- 災害の課題解決に必要なモノが，日常で活躍する場面を考える.
 - 例:防災ミサンガ
 - 災害時には，ひもがあると便利．→日常でひもを持っている → アクセサリーとしてひもを身に着ける
- 災害の課題解決に必要なモノに，なぜモノを持っているのか(オレンジのポストイット)を付け加えてみる



ワークショップ構造

1. 防災の課題を考える

2. 日用品について考える

3. 普段から使いたくなる防災用品のアイデアを考える

4. アイデアの共有・評価・選択・改善



アイデアの共有・評価・選択・改善

(20 min.)

1. アイデアの共有

- 個人で考えたアイデアのうち、最も良いと思うアイデアを共有しましょう
- 聞いている人は**オレンジ色のポストイット**にコメント(疑問・指摘・改善案)を書きましょう
- 新しく思いついたアイデアがあれば追加しましょう

2. アイデアの選択

- チームで1つ最も良いアイデアを選びましょう
 - 今まで見たことがないような新しいもの
 - 災害時の課題を解決しているもの
 - 自分が日常的に使いたいと思うもの

3. 先生からのフィードバック

- アイデアを簡潔に説明して意見をもらいましょう
- フィードバックには必ずしも従わなくても構いません



休憩10分間



先生からのフィードバック

(10 min.)



ちゃぶ台返し

(90 min.)

ちゃぶ台返しとは・・・

良いアイデアが出なかった時にWSの一部をやり直すことで
より良いアイデアを出すこと

方法

1. アイデアがなぜ悪いのかを話し合う
2. 悪い原因がどこのプロセスにあるのかを考える
3. そのプロセスをやり直す
4. もう一度アイデアを考える



最終発表の準備

時間

- 発表7分 + 質疑応答6分

形式

- パワーポイント + グッズのイラスト + スキット (寸劇)

内容

- 以下の4点は必ず伝わるようにしましょう。

1. 考えた商品の概要

2. 商品との出会い

- ✓ どのような人が、なぜその商品を手に入れるのでしょうか？

3. 日常での使用シーン

- ✓ その人は、なぜその商品を毎日使うのでしょうか？

4. 災害時の使用シーン

- ✓ 災害のどのような場面で役に立つのでしょうか？



発表資料作成にあたっての注意事項

パワーポイント + イラスト

1. スライドの枚数は**4~5枚**にしてください
2. 文字のサイズは**20pt以上**にしてください
3. 考えたアイデアを描いたイラストをスライドの1枚目に大きく貼ってください
4. 全員が何かしらの説明（orスキットでの役）をするようにしてください

スキット (寸劇)

1. パワーポイントの説明と合わせて7分を超えると減点されるので、長くなりすぎないようにしてください
2. 皆によく聞こえるように大きな声で話しましょう



アイデアを評価するときの着眼点（例）

- 新規性：既存のアイデアにとらわれない，斬新なアイデアであるか
- 防災グッズとしての有効性：実際に問題となっており，かつ，影響力の大きい防災の課題を解決するアイデアであるか
- 日用品としての魅力：日用品として普段から使いたいと思うアイデアになっているか
- 実現可能性：現在あるいは将来，アイデアを実装する際に障壁が存在するか。存在する場合はその障壁を把握できているか

